



議会だより

# しらたか

6月定例会  
山形県白鷹町議会

Vol.151

2021年7月15日発行  
(令和3年)



## 「小鮎と鮎っ子 元気に育て」 鮎貝小学校 鮎の稚魚放流

コロナ対策を充実 定例会概要	2	p
ここが聞きたい 本会議一般質問	4	p
町民生活向上に18項目の要望	12	p
追跡レポート「全校にエアコンの設置とトイレの洋式化を」	14	p
知れば得するぎかいのキホン「地方議会の議長・副議長」	15	p
輝く地域の力「桂わさび栽培」なかやまベースの取り組み	16	p

お手持ちのパソコンやスマホなどで  
議会中継をご覧くださいませ。  
録画でもご覧いただけます。



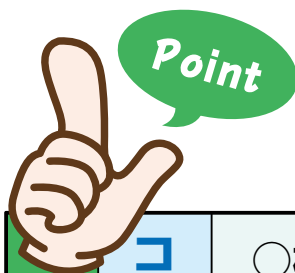
# コロナ対策

補正予算で1億130万円

6月  
定例会

## 6月定例会 概要

- 期 間 6月3日～11日（9日間）
- 内 容 補正予算1件、条例改正2件、町道認定1件、契約案件1件。  
全議案は原案のとおり可決しました。
- 一般質問 横山 和浩 議員「ICT教育の着実な推進を」  
金田 悟 議員「町民からの要望にどう応える」  
丸川 雅春 議員「カーボンニュートラルに向けての取り組みについて」



## コロナ対策を充実

補正予算の主な項目	コロナ関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○検査 ・PCR検査などの費用助成</li> <li>○経済 ・地域応援券の配布 ・事業継続給付金の支給</li> <li>○地域 ・コミュニティセンターなどのコロナ対策</li> <li>○学校 ・換気のための網戸設置など</li> </ul>
	上記以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティセンター改修など</li> <li>○子育て世帯への生活支援</li> <li>○地球温暖化対策実行計画の見直しの調査</li> <li>○しらたかPR推進事業</li> </ul>



6月16日、睦橋の近くで鮎貝小学校の子どもたちが鮎の稚魚を放流しました。

ブラックバス釣り大会の開催など、町でも最上川の環境改善の取り組みを始めており、稚魚も、子どもたちも、元気に育つものと期待しています。

秋には大きく  
鮎の稚魚放流

表紙



# 補正予算 主な質疑

**地区コミセン費**  
竹田委員 申請された件数や内容は、  
企画政策課長  
分館整備として新規8件、増額6件。ほかに蚕桑コミセンのエアコン修繕、鮎貝コミセンのエアコン設置などを行う。

**子育て世帯生活支援特別給付金**  
横山委員 給付対象と周知方法は、  
健康福祉課長  
児童手当受給者などの要件に合致し、住民税が非課税の方が対象。町が把握しきれない部分は、町報などでお知らせしたい。

**地球温暖化対策実行計画**  
横山委員 同計画の事務事業編の計画期間が過ぎた。成果は、  
町民課長 今年度、数値等を調査し実績を出したい。  
横山委員 小学校管理費（修繕）の内容は、  
鮎貝小の滑り台撤去

## 一般会計補正予算の主なもの

地区コミュニティセンター費 (分館施設整備補助)	510万円
子育て世帯生活支援特別給付金事業	1327万円
中山間地域等直接支払交付金事業	1390万円
緊急経済対策地域応援券事業	7400万円
飲食業等事業継続給付金	1400万円
荒砥浅立線道路改良事業	1700万円
小学校管理費（修繕・感染症対応）	1224万円
歴史民俗資料館整備事業（外構工事）	2050万円
地球温暖化対策実行計画推進事業	110万円
しらたかPR推進事業※	500万円 など

◎財源は、国・県支出金、地方債、諸収入、繰越金などで対応します。

※万円未満は端数調整

令和3年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	2億300万円	87億円



### ※しらたかPR推進事業

## がんばれ 白鷹山関

町が制作した「化粧まわし」を身につけてもらい、町のPR・情報発信を行ってまいります。

財源は「ふるさと納税」の寄付金から概算で500万円。大相撲9月場所から付けていただく予定です。

**丸川委員** 学校遊具の安全管理方法は、

### 遊具の安全管理



子どもたちの安全が大事

**教育次長** 小学校設備等の修繕、鮎貝小学校の滑り台撤去など。

**金田委員** 荒砥浅立線の補正額が大きい理由は、  
**建設課長** 消雪ポンプ改修にあたり、調査成果により、消雪ポンプ配管の材質を変更する必要が生じたため。

### 荒砥浅立線の改良

**教育次長** 3年ごとに専門業者により目視・計測などで判定していただいている。

# ICT教育の着実な推進を

町長「教育は未来への投資」という姿勢で取り組んでいる



録画を配信



横山和浩議員

## ICT教育の推進

**問** ICT教育の導入目的や、人づくりへの思いは。

**町長** 町長就任以来、「地域づくりは人づくり」を根底に「教育は未来への投資」という姿勢で積極的にさまざまな事業を進めてきた。

本格的に取り組んでまだ2カ月と実績はほとんどない状況。現在はコロナウイルス感染症対策に万全を傾注している。

**教育長**

ICTを活用する能力は学

**問** 学校ごとに差が出ないよう支援を。

**教育長**

各校の代表の教職員を通じて情報共有を図ってきた。重点指導項目を作成し、町内で統一して取り組むことで指導のばらつきを抑えるよう計画している。

校の標準になると考えるが、タブレット端末の導入により劇的に学習のやり方が変わるのではなく、学びを深める道具としての活用を目指したい。効果的な活用はさまざま考えられる。

**問**

情報活用能力の育成にあたり、図書室や図書館の活用は。

**町長**

重要と思うが、ICT教育の活用が進んでから、研究が必要と認識している。

## 先生の研修機会

**問**

先生の研修機会の充実を。また、先生方の負担軽減のため、働き方改革も意欲的に進めてほしい。

**教育長**

教職員の指導力向上のため、研修動画の視聴や実践研修などを行っているほか、各校の推進リーダーに効果的な活用方法を研修している。また、実践の共有や各校担当との日常的な情報交換により活用を促進する。

ICT環境の活用により教職員の負担軽減を図り、実践する先生ながら、集合研修や状況に応じた個別研修などの効果的な研修を行いたい。



屋外活動にもタブレットを活用

## 地域の理解が必要

**問**

理解を深めるための取り組みは。

**教育長**

お便りやアンケートなどの電子化なども研究しているが、心通わす顔の見える関係づくりとのベストミックスを模索していく。

**町長**

スタートして日が浅く、コロナ対策にも取り組んでおり、まだそこまで至っていない。指導員も配置しており、リーダーの役割を認識して経営にあたっていただきたい。

**教育長**

これまでも広報などで周知を進めてきたが、学校運営協議会も貴重な情報共有の場になると考えている。

# 町民からの要望にどう応える

## 町長「打てば響く町政」を推進し、真摯に丁寧に対応していく



録画を配信



金田 悟議員

### 打てば響く町政

**問** 打てば響く町政とは。

**町長** 初当選をさせていただいたときから現在まで、町民の皆様にお示ししてきた選挙公約のキャッチフレーズである。現場主義を基本としながら町民と創りあげる「共創のまちづくり」を理念とし取り組んできた。

### 町民からの要望

**問** 町民からの要望はどのように把握し、対応していくか。

**町長** 多方面からいただいた要望を整理し、

理し、全体を見据えて緊急性の高いものから課題解決を行っている。「打てば響く町政」を推進し、真摯に丁寧に対応していく。

**問** 意思決定の手順は。

**町長** 昨年度、区長会連合会からいただいた全体要望20件、各区長からいただいた個別要望120件の全ての要望内容は、役場内で共有し、内容に応じて所管課に振り分け、要望事項の確認・検討を行う。

対応方針については、課長会議などで調整している。

**問** 要望をどう実現するのか。

**町長** 各種計画との整合性、事業規模により、慎重な対応が必要なのは、「振興実施計画」の策定を経て、次年度予算編成の手順により、対応方針、具体的手法、財源、工程などを整理して予算化し、計画的に実施する。



実現してほしいなあ（まちづくり座談会の様子）

**問** 各地区からの要望に対する進捗状況の「見える化」は。

**町長** 回答書の中で、全ての要望に対し、対応の可否とその理由、事業着手見込みなどの今後の方針、代替策など詳細にお示しし、毎年継続して要望

のある事項は、これまでの経過、対応状況をお示しすることで、「見える化」に努めている。

### 町からの管理委託

**問** 町側から地区への管理委託の実態は。

**商工観光課長** 各公園管理等24件把握している。

**問** 上の台公園の今後の在り方は。

**町長** 地区から要望があったトイレの整備だけでなく、さまざまな歴史のある公園であり、お互いに話し合い、方向性を見出していく。

### 区長の活動実態

**問** 区長の活動実態をどのように把握しているか。

**総務課長** 町全体として、区長会連合会の会議は、全員対象は年3回程度、役員会は年4回程度。加えて、

約30団体の各種審議会等の会議がある。更に、地区及び区については、災害から福祉までさまざまなことを取りまとめていただいている。

### 自然災害への対応

**問** 毎年、同じ場所が被災している状況への対処方針は。

**建設課長** 現地調査を行い、対応策、解決策を検討していきたい。

### 転出による人口減少

**問** 長年の要望が実現せず転出するなど、人口減少につながると思うが所見は。

**町長** 根本に関わるたいへん重要な課題である。地域の活発な意見交換から、地域の課題を見つけ出し、地域推進交付金を有効に活用していただけない場合は、行政に一報いただきたい。



# 今後の再生可能エネルギーの導入は 町長 本町の特性を活かした導入を進めたい



録画を配信  
(前半)



録画を配信  
(後半)



丸川雅春議員

## 再生可能エネルギーの導入

**問** 現在の公共施設や一般家庭における導入状況は。

**町民課長**

太陽光発電設備は白鷹中学校や産業センターなど7施設に導入しており、町立病院には太陽熱温水設備を導入している。一般

家庭では補助制度利用件数で太陽光発電設備56件、木質バイオマス燃焼機器32件の88件である。

**問** 今後本町において導入に向けてどのような考えがあるか。

**町長**

導入コストなどの事業性、技術開発の進展、国や県の

支援制度を注視しながら、本町の特性を活かした再生可能エネルギーの導入を進めてまわりたい。

**問**

導入施設が増えることにより削減されている二酸化炭素の排出量を数値で表し、「見える化」を図る必要があると思うが考えは。

**町民課長**

「見える化」をするということ

ことは大切なことと認識している。公表する内容や時期について検討していきたい。

**問**

今後、家庭用蓄電設備の需要増が考えられる。町独自の補助導入の考えは。

「見える化」をするということ

**町民課長** 災害時の非常用電源にもなるので、内容を検討していきたい。

## ゼロカーボンシティ宣言への取り組み

**問** 本町として宣言をする考えは。

**町長**

宣言に当たっては具体的な目標や取り組みなどを分かりやすく伝えることが大切である。町全体の地球温暖化対策実行計画を策定し、ゼロカーボンシティ宣言に向けて取り組んでまいりたい。

## 森林整備の状況と対応

**問** 二酸化炭素の吸収源としての役割を確保していくため、今後の森林整備についての考えは。

**町長**

本町の人工林の多くが伐期齢を迎えており、全町的な年次伐採計画などが必要で、本年度中の策定

**問** 森林所有者の今後の森林経営に対する意向調査も必要と思うが、状況は。

**農林課長**

森林経営ができなくなってきた方から行政が委託を受け、経営を代行する森林経営管理制度があるが、境界明確化が不完全なので慎重に進めている。

**町長**

各財産区の森林は伐期を迎えており、そうしたものを製品として使用するか、エネルギーとして使用するか、うまくすみ分けをしていくことが望まれてくる。これらについては今年度新たに設置した林政係で対応してまいりたい。

**問** 国の※J・クレジット制度を活用すれば、クレジット



維持して活用 森林資源

の売却益を森林整備に活用でき、木材の販売促進と二酸化炭素吸収量増につながると思うが考えは。

**農林課長**

自治体間や企業との新たな連携構築という波及効果も期待できるので、大変有効な制度と考えている。しかし今は制度の情報収集や調査の段階であり、林政係を中心に検討してまいりたい。

※J・クレジット制度

省エネ機器の導入や森林整備などによる、二酸化炭素の排出削減や吸収量を、販売や購入することができる制度。

## 条例

### ●白鷹町町税条例の一部改正

非課税限度額における扶養親族の取扱いの整理などのために改正するもの。

### ●白鷹町職員の職務に専念する義務に関する取扱い等の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、特別休暇及び職務専念義務の免除の取扱いについて明記するもの。

## 契約

### 1 契約の目的

子育て支援住宅4棟の整備

### 2 契約の方法

指名競争入札

### 3 契約金額

1億500万円

### 4 契約の相手方

株式会社鈴木工務店

代表取締役 鈴木 洋

## 町道認定

### ●主要地方道長井白鷹線荒砥橋架替工事により認定された路線

路線名	起点	終点
火葬場線	荒砥甲字中川原三 1762-2	荒砥甲字中川原八 2030-3
箕和田神明線	箕和田字門前 706-3	鮎貝字船場前三 2702-5

## 第3回臨時会 5月6日

●白鷹町議会委員会条例の一部改正、令和2年度白鷹町一般会計補正予算等4件の専決処分の承認、白鷹町固定資産評価員の選任、令和3年度白鷹町一般会計補正予算、工事請負契約の締結2件など、全ての議案を承認、可決した。また、白鷹町議会委員会条例等に基づき、新たな常任委員などの選任を行った。

## 新たな議会体制 (◎委員長 ○副委員長)

議長 今野 正明 副議長 山田 仁

### 総務厚生常任委員会

◎小口 尚司 ○笹原 俊一 遠藤 幸一 山田 仁 丸川 雅春 金田 悟

### 産業建設常任委員会

◎関 千鶴子 ○竹田 雅彦 今野 正明 菅原 隆男 奥山 勝吉 横山 和浩

### 議会運営委員会

◎菅原 隆男 ○小口 尚司 遠藤 幸一 関 千鶴子 山田 仁 笹原 俊一

### 議会広報特別委員会

◎笹原 俊一 ○金田 悟 丸川 雅春 竹田 雅彦 横山 和浩

### 予算特別委員会

◎奥山 勝吉 ○関 千鶴子 ほか議長を除く全議員

### 議会活性化特別委員会

◎山田 仁 ○笹原 俊一 ほか議長を除く全議員

### 議会選出監査委員

丸川 雅春

### 置賜広域行政事務組合議会議員

今野 正明 遠藤 幸一 菅原 隆男

### 西置賜行政組合議会議員

小口 尚司 笹原 俊一 金田 悟

総務厚生常任委員会 6月7日

## 保健・福祉・医療 新たな仕組みを構築へ

第2期健康と福祉の里構想策定方針について説明を受けた。

### 【背景】

平成6年1月に健康都市宣言を制定し、健康と福祉の里構想を策定した。平成9年4月に健康福祉センター、同年10月には町立病院

をオープンし、保健・医療・福祉の一元化を進めてきた。

⑥多様な主体との連携強化  
⑦見える化

### 質疑

【委員】策定スケジュールは、いつ頃を目指すのか。

近年、これらを取り巻く環境は大きく変化し、少子化や人口減少による病院経営の悪化など課題も山積しており、施設には経年劣化が現れている。

【当局】施設の老朽度調査や、デジタル化、木質化などの課題も含めて全庁的に策定を進め、基本的な考え方は今年度中に示したい。

### 【策定の視点】

- ①SDGs
- ②デジタル化
- ③誰に対しても優しい環境づくり
- ④木造、木質化
- ⑤交通弱者対応

【委員】福祉分野において現在の連携状況は、  
【当局】健康福祉課と社会福祉協議会、町立病院と連携を取りながら事業に当たっている。更にさまざまな福祉関係の住民団体をお願いしている部分もある。

- ①SDGs理念の広がり
- ②地域社会を担う人材の確保・育成

【委員】新法により本町で得られる効果は、  
【副町長】「持続的」という視点の中で、町内の地域資源を活用した新しい仕事を作り上げることに、働く場と定住人口の確保を図ることができる。

### 【背景】

## 持続的に発展するまちづくりへ

過疎地域持続的発展計画の策定について説明を受けた。

「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末をもって期限を迎えたことから、過疎地域において総合的かつ継続的な対策を実施するための新たな「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が、令和13年3月31日までの10年間の時限立法として制定された。

このようなことから新法に基づく「白鷹町過疎地域持続的発展計画」を策定するもの。

- ③過疎の特性をいかした教育の展開
- ④新しい人の流れと地域のつながりの創出
- ⑤しごとづくりの新たな展開
- ⑥集落づくりのため新しい組織とネットワーク
- ⑦行政のデジタル化などの可能性



### 質疑

【委員】新法により本町で得られる効果は、  
【副町長】「持続的」という視点の中で、町内の地域資源を活用した新しい仕事を作り上げることに、働く場と定住人口の確保を図ることができる。

- その他
- （仮称）置賜成年後見センター設立
  - 町立病院の状況
  - 令和4年度白鷹町重要事業要望
  - 白鷹町ICT推進方針骨子（案）などについて説明があった。

建設から24年目





# 大きな被害を受けた果樹

4月の凍霜害の状況について説明を受けた。

## 【経過】

今年4月に発生した降霜により、白鷹町において、サクランボ、リンゴ、アケビを中心に大きな被害が発生している。

## 【被害状況】

着果（実が付く）量は、主なものとしてリンゴが0〜80%、サクランボが10〜20%、アケビが20%以下。

## 質疑

### 対策は

**委員** 被害を受けた方で共済などに加入していない方もいるのか。  
**当局** 収入保険や果樹共済などに、それぞれの判断で加入していない方もいる。現在確認中である。

**委員** 何らかの対策を講じていただきたい。

**町長** どのように支援できるか調査し、他自治体の動向も見ながら、農家の意欲減退にならないようにしていきたい。

### ほかの品目の被害は

**委員** 3品目以外の被害は。

**当局** ぶどうは30%〜半分程度の着果量。アカスモモはほとんど着果していない。ラ・フランスは3割程度の被害ではないか。

### 委員

県の対策パッケージは対象品目が決まっており、被害状況で対象に制限がある。アカスモモは大切な町の生産品であり、県とは別に検討できないか。

### 返礼品の対応は

**当局** アカスモモで生計を成している方がどの程度いるか把握していきたい。

**委員** 被害品目にはふると納税の返礼品もあると思うが、どのような対応をしていくか。

**当局** ブドウは例年通りの量が出荷できないとしてストップしていると聞いている。そのほかの品目は把握していない。



## 【事業・決算の概況】

コロナ禍の影響でさらに厳しい結果に  
一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況について説明を受けた。  
(11ページに関連記事)

コロナ禍の影響は甚大であり、年度初めに「感染症対策本部」を設置し、緊急事態宣言の発令に伴う施設休業や利用者・従業員の感染拡大防止対策を図り、売上げ減少に対する検討を行った。

しかし、宿泊・飲食サービスマイブ全体が大変厳しい経営を余儀なくされ、その影響により宿泊や宴会の予約が入らず、当期一般正味財産増減額は、約5372万円の赤字となった。

## 質疑

### 人件費を削減

**委員** 人件費削減の内容は。

**当局** 雇用調整でアルバイトやパートの人数

を一時的に削減したものが表れていると思う。

**町長** コロナ禍が収まらなければ厳しい判断になる。委託料も無限には出せない。専門家の意見もいただきながら、様々な視点から検討し判断したい。コロナ禍が終息すれば状況は戻るという思いはある。

### 事業分離の検討は

**委員** 財団の経営の中で公共施設の管理運営事業を分け、独立性を備えて運営した方がいいと思うが。



その他  
○白鷹町子育て支援住宅整備事業  
○白鷹町都市計画用途地域の見直しなどについて説明があった。

総務厚生常任委員協議会 5月26日

# 白鷹町歴史民俗資料館プレオープンへ

白鷹町歴史民俗資料館の運営等について説明を受けた。

## 【開館日・観覧料】

### ○開館日及び時間

金・土・日曜日

午前9時～午後5時

### ○観覧料

一般200円

団体100円（10人以上）

中学生以下は無料で、特別展示の料金は別に定める。

## 【2期工事】

【スケジュール】

7月21日 竣工式

7月23日～8月1日 プレオープン

（プレオープン期間の観覧料は無料）

①荒砥高校、白鷹高等専修学校の生徒

②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳保持者

③その他必要と認めらる者

【職員配置】

館長 教育次長が兼務

学芸員1名

週5日勤務

地域おこし協力隊の募集も検討

## 質疑

【委員】 特別展示はどのようなものを考えているか。

【当局】 そのときのテーマによるが、本町出身の偉人に関連するものなどで、内容によって料金が変わるため、その都度お知らせする。

【委員】 年間のランニングコストはどのくらいか。

【当局】 500万から600万円程度で、収入は、観覧料等で50万円程度を見込んでいます。

【委員】 観覧料が減免対象である「その他必要と認める者」の手続方法は。

【当局】 申請いただいで



決定する。各種手帳等を提示していただければ、申請は必要ないと考えている。

その他

○地球温暖化対策実行計画の策定

○東京オリンピック聖火リレー

○東京オリンピックについて説明があった。

産業建設常任委員協議会 5月26日

# 棚田地域の振興に向けて

白鷹北部地区地域振興協議会設立について説明を受けた。

中山間地域の農地「棚田」を保全し、多方面にわたる機能の維持増進を図ること、併せて棚田地域の地域振興に向けて協議会を設立した。

【経緯】

R2年度 棚田地域振興緊急対策事業の実施

R3年2月 指定棚田地域の指定

3月 協議会設立検討会議

4月 協議会設立総会・指定棚田地域振興活動計画の提出

【構成地域】

鮎貝、高岡、深山、萩野、滝野、中山の各区

【予算】

棚田振興活動加算の交付金を協議会の活動

資金として活用

加算は、棚田(田・畑)10a当たり1万円

対象面積は田約136ha 畑約2.5ha

【スケジュール】

5月 指定棚田地域振興活動計画の認定

6月 中山間地域等直接支払変更認定申請(棚田加算)の提出、役員会

7月 総会 活動開始

○質疑なし



深山の棚田



# 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により さらに厳しい経営状況に



アフターコロナを見据えた経営努力に期待

## 事業報告

一般財団法人 白鷹町アルカディア財団  
理事長 横澤 浩

◆概要 令和2年度は、第二次中期利益計画の最終年であり、引き続き収益事業の売り上げ確保と事業経費の節減・抑制に取り組む計画を立てていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、宿泊・飲食サービス業界全体が、大変厳しい経営を余儀なくされた。

このような中、財団を所管する法律の規定を踏まえ、存続に向けた取り組みとして、白鷹町アルカディア財団戦略推進プランと職員研修計画を策定し、それぞれの計画に基づく着実な取り組みを進めると共に、それでも不足する資金調達について、町に令和3年度に出捐金しゅつえんの増額と指定管理料の増額を要請し、経営の安定化に取り組む。

◆収益高 宿泊・飲食に関連する事業収益の大幅な減少により、経常収益合計は1億9783万円（前年度比1億1583万円の減）であった。経常費用合計は2億5238万円（前年度比6766万円の減）となり、当期損益は5372万円の赤字となった。

○主な事業の利用者数 ( )は前年比		
宿泊	2626人	(5627人減)
宴会	2896人	(1万3937人減)
レストラン	7017人	(740人減)
もりもりハウス	414人	(1223人減)
スキーセンター	2762人	(2762人増)
入湯	3万8331人	(2万2207人減)
野外施設	3万7051人	(418人減)
○主な事業の売上金額 ( )は前年比		
宿泊	2493万円	(4506万円減)
飲食	2392万円	(7056万円減)
入湯	841万円	(618万円減)
スポーツ施設	785万円	(3万円減)

※万円未満は端数調整

## 町立病院業務のみの受注とし、 職員数は36人に

有限会社ケイエスしらか

代表取締役 藤島 丈

### ■主な業務受注状況

- ◇白鷹町立病院
- 医療事務・事務宿日直・調理業務・電算保守等・事務補助

### ■理事・職員数(令和3年3月31日現在)

- ◇理事……2人(非常勤・無給)
- ◇職員……36人(4人増)

- 病院医療事務員……17人(2人増)
- 電算管理……2人
- 病院施設管理……4人
- 病院調理師……9人(1人増)
- 病院事務補助……4人(3人増)
- 運転手……0人(2人減)

※( )内は、1年前との比較。

### ■令和2年度決算

- ◇事業収益 1億2711万円
- ◇事業費用 1億2671万円
- ◇当期純利益 20万円

※万円未満は端数調整

<p>8 【<b>継続</b>】</p>	<p>【<b>地域医療の確保</b>】</p> <p>1. 人口減少・少子高齢化に対応した財政措置拡充 2. 医師確保困難地域に対する財政措置拡充 3. 地域医療の確保策にかかる指導・助言</p>	<p>町立病院では24時間365日対応の救急医療や在宅診療を担っています。将来的に病院が町で唯一の医療機関になることが予想されます。<b>持続可能で安定した運営が可能になるための支援</b>が求められます。</p> 
<p>9 【<b>継続</b>】</p>	<p>【<b>新型コロナウイルス感染症対策への支援</b>】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、</p> <p>1. 経済活動回復に必要な財政支援の充実 2. 感染症対応に係る医療機関への支援</p>	<p> 終息まで相当な期間を要すると言われており、疲弊した経済や住民生活を回復するためには、長期的な取り組みが必要です。また感染症の影響で町立病院の経営が著しく悪化しています。<b>地域医療を守るため財政支援の強化</b>が必要です。</p>
<p>10 【<b>新規</b>】</p>	<p>【<b>グリーン社会の実現に向けた施策の充実</b>】</p> <p>グリーン社会実現に向け、</p> <p>1. 再生可能エネルギー導入へ施策の拡充・充実 2. グリーン社会実現のため、技術開発等の働きかけ</p>	<p>再生可能エネルギー導入を進めるためのコスト負担が大きい現状です。また、<b>幅広い事業者が取り組める</b>ような技術開発と社会実装の加速化に向けた支援の拡充が必要です。</p> 
<p>11 【<b>継続</b>】</p>	<p>【<b>木材の安定供給体制構築の支援強化</b>】</p> <p>1. 森林施業や路網整備、高性能林業機械導入等、木材の安定供給体制の構築をはかる支援など 2. 都市部での県産木材利用など新たな需要創出</p>	<p> 公共施設の木材利用に取り組み、一般住宅等の<b>町産材利用に補助金</b>を出しています。安定的に木材を供給するためには新たな使いみちを見つけなくてはなりません。</p>
<p>12 【<b>継続</b>】</p>	<p>【<b>森林境界明確化事業に対する支援</b>】</p> <p>民有林における航空レーザー測量の実施や県補助事業の創設など、森林境界明確化の支援</p>	<p>現在の取り組みでは<b>1年間で50ha</b>が限界です。<b>航空レーザー</b>を活用して、測量から明確化に必要な地形情報及び森林資源情報の解析まで実施するには自治体にとって大きな財政負担となります。</p> 
<p>13 【<b>新規</b>】</p>	<p>【<b>国道348号の高規格化による再整備</b>】</p> <p>利用者や近隣住民の安全・安心を確保し、地域生活圏の発展と地方創生に寄与するため、国道348号の高規格化による再整備をはかること</p>	<p>国道10kmあたりの<b>事故発生件数と死者数が県内ワーストレベル</b>です。令和2年7月豪雨では滝野地内で延長100mを超える範囲の法面崩壊と歩道の欠損・崩落が発生しました。早期の課題解決と高規格化による再整備が必要です。</p> 
<p>14 【<b>継続</b>】</p>	<p>【<b>主要地方道長井白鷹線道路改築事業の推進</b>】</p> <p>1. 荒砥橋工区の早期完成 2. 荒砥橋工区以東～役場前区間の早期道路改良 3. 無歩道区間への早期歩道設置</p>	<p>白鷹大橋から東への役場前につながる道路には、多くの住民から道路改良の要望が寄せられています。<b>早期の着工</b>と、通学路でもある無歩道区間について安全のための<b>歩道設置</b>が待たれます。</p> 
<p>15 【<b>継続</b>】</p>	<p>【<b>国道287号道路改築事業の整備促進</b>】</p> <p>1. 国道287号菖蒲地内の道路改築事業推進 2. 国道287号下山地内の道路改築事業の早期着手</p>	<p> 菖蒲・下山地内には依然として狭い個所や急カーブ、歩道の未設置区間があります。児童生徒及び地域住民の安全確保をはかるためにも<b>早急な改修</b>が望まれます。</p>
<p>16 【<b>継続</b>】</p>	<p>【<b>長井～白鷹間西廻り幹線道路整備早期着工</b>】</p> <p>産業振興や職住育近接等の生活環境を整えるうえで重要な役割を果たす、長井～白鷹間の西廻り幹線道路整備について早期に着工すること</p>	<p>「山形県道路中期計画2028」で、2019～23年の間に<b>調査着手</b>とされており、令和2年度には、一部調査も実施されました。新潟県から宮城県につながり東北中央道や国道13号の通行に支障が生じた場合の補完的機能も果たします。</p> 
<p>17 【<b>新規</b>】</p>	<p>【<b>GIGAスクール構想による個別最適な学びの充実</b>】</p> <p>1. ICTを活用した次世代型教育展開のため支援拡充 2. 学習指導員等の学校への配置や専門的な知識や技能を有する専門家を計画的に配置すること</p>	<p> タブレット端末や使用するソフトウェアの更新に係る費用の負担が課題です。また、教師が授業づくりやICTを活用した<b>次世代型の教育</b>に力を注ぐため専門的な知識や技能を有する人材を配置する必要があります。</p>
<p>18 【<b>継続</b>】</p>	<p>【<b>県立荒砥高校魅力化計画の推進への支援</b>】</p> <p>県立荒砥高等学校魅力化計画の推進に必要な専門家やコーディネーターに係る支援、情報提供、助言</p>	<p>1学級減となった同校の存続に向け、地域連携協議会を中心に「<b>荒砥高校学校魅力化計画</b>」が策定されました。存続されることで町内企業の活力、地域全体の活力を維持していくことにつながります。</p> 



# 町民生活向上に 18項目の要望

6月23日、今野議長は佐藤町長とともに  
置賜総合支庁を訪れ、『令和4年度重要事業要望書』  
を総合支庁長に手渡しました。6項目の新規を含む  
重要事業18項目について県の支援を要望しました。



**全てが町民にとって重要です**

	要望事項	現状と要望する理由
1 【継続】	<b>【白鷹高等専修学校への支援】</b> 高等課程を有する白鷹高等専修学校に対し、私立高等学校と同程度の支援を行うこと	スクーリングなどで県立霞城学園高校で学び高校卒業資格を得ることが可能。置賜全域から入学者が増加傾向。生徒一人当たりの補助額は私立高校が <b>379,044</b> 円。白鷹高等専修学校は <b>78,157</b> 円。とても大きな差があるのが現状です。 
2 【新規】	<b>【デジタル化推進のための環境整備充実】</b> 多様なデジタル社会形成に向け、 1. 人材確保・育成に対する支援制度の充実 2. 環境整備に対する財政支援の拡充 3. 国に対し5Gエリア拡大、低廉なサービス提供促進の働きかけ	専門的人材の不足。全住民がデジタル社会に参画するには多くの費用が必要です。 白鷹町のデジタル化の方向性 ▶ ICT（情報通信技術）推進のための検討事項 町内産業の活性化 安全・安心の確保 行政の効率化 ※町民サービスの向上 ※町民サービスの向上 <b>PICK UP!</b> ◇ホームページの利便性向上 ◇行政手続きのオンライン化 ◇キャッシュレス決済導入 ◇押印・署名・対面手続見直し ◇GIGA スクール構想推進 ◇母子手帳アプリ導入 他
3 【継続】	<b>【人口減少対策に対する支援】</b> 1. 移住支援金の支給対象要件の緩和 2. 医療費自己負担額無料化の制度創設 3. 結婚対策支援と総合的な少子化対策の推進	出生者数は平成28年から <b>70</b> 人、 <b>59</b> 人、 <b>62</b> 人、 <b>55</b> 人、 <b>60</b> 人。 20～30歳代の町外転出が多く、国策である移住支援金は、年俵や年齢などの要件が厳しくほとんど使われません。 制度と実態とが大きくかけ離れています。 
4 【継続】	<b>【地方交付税総額の確保充実】</b> ※地方交付税総額の確保充実をはかること ※地方交付税とは、本来地方の税収入とすべきであるものを国が代わって徴収し地方に合理的な基準で再配分するもの。	安心・安全のまちづくり、魅力あるまちづくりの推進のためには自主財源の確保と併せて地方交付税をはじめとする一般財源の充実強化を堅持することが不可欠です。現状は増え続ける社会保障関係経費、感染症への対応などで歳出が増加し、さらには人口減少による地方税の減など、地方財政は極めて厳しい状況にあります。
5 【継続】	<b>【地域公共交通に対する支援】</b> 1. デマンド交通に対する交付金制度の拡充 2. フラワー長井線に対する経営等の助言と財政支援	デマンドタクシー利用者は増えていますが採算は厳しい状況。公立置賜総合病院までの直通便や市街地の循環バスの実証実験を行っていますが、継続には <b>財政負担が大きい</b> 状況です。◇長井線は今後の維持・修繕に <b>多額の自治体負担</b> が見込まれています。
6 【新規】	<b>【過疎対策事業債の必要額確保】</b> ※過疎対策事業債の必要額の確保をはかること ※過疎対策事業債とは過疎地域とされた市町村が行う事業の財源として特別に発行が認められた地方債のこと。	過疎対策事業債は実績に応じて県へ配分され県から市町村に配分されます。ハード分とソフト分に分かれており、特にソフト分が減少傾向にあります。町単独で実施するソフト事業（コミュニティセンター毎の地域づくり推進交付金や学習支援員事業など）の必要額の確保が喫緊の課題です。
7 【新規】	<b>【消防力の確保・強化のための支援充実】</b> 消防団員の処遇改善により、団員数の確保、ひいては地域防災力の一層の充実・強化のための財政支援の拡充をはかること	近年頻発する自然災害などに対し、消防団は重要な役割を担っています。一方で人口減少や高齢化で白鷹町の消防団員は定員670人に対し632人、平均年齢は37.3歳です。 <b>団員数は減少し年齢は年々上がっています。</b> 

# 追跡 レポート

## — あの質問のゆくえ — 学校に洋式トイレと エアコンの増設を

○学校トイレの洋式化を望む。

○気温が上がり熱中症の危険が高まりエアコンの設置を進めるべきと考える。

(平成29年6月議会)

答  
弁

トイレ1カ所あたり洋式トイレ1基を目指して整備を進める。

エアコンは職員室などへの整備が完了次第、普通教室への設置を検討していく。

どうなった

学校トイレの洋式化については、各学校からの要望などを受けて、順次整備を進めています。令和3年度には、東根小学校のトイレ改修工事を実施し、「トイレ1カ所あたり洋式トイレ1基」の整備が完了します。今後においても、各学校からの要望などを伺いながら、学校トイレの洋式化を検討してまいります。

学校エアコンの整備については、平成30年度に各小中学校の職員室への設置が完了しています。また、平成30年度においては、災害ともいえる猛暑だったこともあり、児童生徒等の熱中症対策として、各学級に冷房設備を整備するため、「冷房設備対応臨時特例交付金」の制度が創設されました。平成31（令和元）年度には、当交付金を活用し、各小中学校の普通・特別教室へエアコン設置を実施し、全ての小中学校への冷房設備設置が完了しています。

【教育委員会】



トイレの洋式化とエアコンの設置については、一定の評価をする。

学校設備の充実について、引き続きPTAや保護者からの意見にも耳を傾けてほしい。



# 知れば得する“ぎかい”のキホン

## 第8回

# 地方議会の議長・副議長

地方公共団体の議会には必ず、議長、副議長が一人ずつ選任され、議会全般の取りまとめを行います。それでは議長、副議長のあれこれを見てみましょう。

●議長、副議長の選任  
地方自治法に、「議会は、議員の中から議長とあり、それに従い選

挙します。ただし、議

員に異議がないときは、指名推薦の方法も地方自治法により認められて

います。この場合は、指名された議員を当選人とするかを会議に諮り、全議員の同意があつた場合に当選人となります。

●役員  
選ばれた議長は、整然と話し合いを進めるために、議事の進行を行います。議員の意見をまとめたり、議会を

代表していろいろな行事に出席したりします。議長がほかの用事や病気のため仕事ができないときに、代わりをするために選ばれているのが副議長です。

した場合は、次の議会に報告しなければなりません。  
いずれも議長、副議長の役職を辞めるものであり、議員としての身分は変わりありません。

●議長、副議長の辞職  
議長が辞職しようとするときは副議長に、副議長が辞職しようとするときは議長に辞表を提出しなければなりません。そしてそれらの提出があつたときは、その旨を議会に報告し、会議に諮って決めなければなりません。

●仮議長、臨時議長  
議長、副議長ともに事故があるときは、選挙で仮議長が決められ、議長の職務を行います。

臨時議長とは、一般選挙後の最初の議会で、議長選挙を行う場合や、仮議長の選挙を行う場合で、議場内にいる最年長議員が行うものです。



中山ブランドを作りたいですね。



沼澤 秀樹 さん (中山地区)

# 輝く地域の力 白鷹の未来を彩る

## 桂わさび栽培 ～ なかやまベース



### … 発信したい地域の魅力 …

なかやまベースの沼澤さんにお話を伺いました。

**どんな仲間ですか**  
20～50代の男女合わせて約10名です。中山に住んでいる人が中心ですね。ほぼ毎週みんなが集まってきて、何かしらの作業をしています。

**活動のきっかけは**  
中山も人が少なくなり若者も少なくなる中で、何か楽しいことができないかと思ひ。まずは、「やってみっぺ」

から始まりました。

### どんな活動ですか

中山には、有名な桂清水というきれいな湧き水があります。それを活用して何かできないかと思ひ、ワサビ栽培を昨年より始めました。自分たちで調べて試行錯誤しながら、山形新聞にも取り上げていただきました。でも収穫まで3年もかかるので、2年半後の収穫を楽しみにしています。

**今年**は、ワサビを春に植え付けをして、秋にも植える予定です。

**餅**米も栽培しています。お正月に中山の高齢の方々に鏡餅にして配ってみたいという発想からです。

### 心がけていることは

集まることは特に決めているいんです。来られる人ができることをやっている感じですね。みんな忙しいので、無理なく楽しめる範囲

で協力してもらっています。

### 実はリーダーがいな

いんです。自分はたまにたまワサビの言い出しっぺなので中心になつていますが、餅米はまた別な(言い出した)人が中心です(笑)。

**楽しみなことは**  
楽しみはこれからだと思つています。地元から生産できる、形にできることが楽しみです。中山地区の方々の理解と協力もあるので、何とか形にしたいですね。

**今後の目標は**  
中山ブランドをつくりたいですね。中山に行くといろいろ楽しめるというものをつくりたい。今も(まがし)があり、県外から中山に来てトマトなどを生産している方々もいるし。ワサビもその一つで、この中山の土地や資源を活用し、魚やキノコ、山菜、できれば



きれいな湧き水が決め手

お酒なんかもやってみたいと仲間内で話しています。

### 議会へひとこと

こういう所で何かをやるうとか、わざわざ来てくれた人達の考えを拾って、声を市政に届けてほしいですね。

### 取材を終えて

前回の取材でもそうでしたが、「無理なく楽しく続ける」がキーワードのように思ひます。そして地域の理解と協力が重要であることも改めて感じたところです。(竹田)

### 編集後記



本号から、編集長を拜命いたしました。

今までの歴史を大事にしながらも、新たな発想を取り入れ、広報委員一同一致団結し、紙面づくりに挑戦していきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

これから暑い日々が続きます。コロナ対策・熱中症などさまざまな対策を講じて過ごさなくてはならない日常ですが、ワクチン接種が順調に進み、以前のようない日常が来ることを切に望みます。

(金田)

### 広報委員

- 委員長 原 俊一
- 副委員長・編集長 金 田 悟
- 委員 丸 川 雅 春
- 委員 竹 田 雅 彦
- 委員 横 山 和 浩
- 印刷・長谷川印刷

